# 良質な道路空間の形成

遮音壁の設置や低騒音舗装の敷設など道路構造対策を実施し、よりよい沿道環境にするための整備を行います。また、無電柱化を進め、災害に強い快適で美しい町並みをつくります。

## 沿道環境の改善

### 遮音壁の設置等により、沿道環境の改善を図ります。

遮音壁の設置等により、道路交通から発生する騒音を抑制し、沿道に暮らす方々の生活環境の改善を図ります。

■計画の概要

| | |
|---|---|
| 計画路線 | 国道1号・16号・246号 |
| 規　　格 | 第４種第１級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 延　　長 | 約69.0km |
| 車 線 数 | ２～６車線 |

**令和５年度の業務**

調査設計及び環境対策工を推進します。

■事業位置図

**整備の実施状況**　国道16号 保土ケ谷バイパス

新桜ヶ丘IC付近

新桜ヶ丘IC付近

## 川崎１号環境整備

### 安心・安全・ゆとりなど、沿道に暮らす方々の日々の暮らしに配慮した『みち』づくりを進めます。

川崎市内の国道1号では、無理な車線変更による車両等が交通の流れを阻害し渋滞の発生原因や安全性の低下要因となっています。また、歩道も2m未満で狭い状況となっています。

このため、安全・安心ゆとりなど沿道に暮らす方々の日々の暮らしに配慮した「みちづくり」を進めています。

■事業位置図

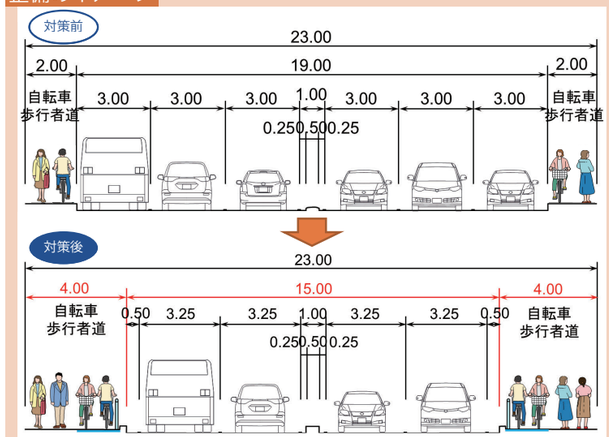
■計画の概要

| | |
|---|---|
| 計画区間 | 川崎市幸区小向仲野町～同区柳町 |
| 規　　格 | 第４種第１級 |
| 設計速度 | 60km/h |
| 延　　長 | 約2.8km |
| 車 線 数 | ６車線 |

**令和５年度の業務**

調査設計及び改良工事を推進します。

**整備のイメージ**




**整備の実施状況**

幸区遠藤町

## 無電柱化(電線共同溝と共同溝)

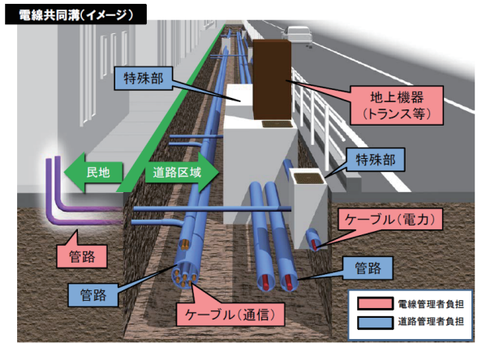
防災機能が向上し美しい街並みが形成されます。

### 電線共同溝

無電柱化(電線共同溝の整備）事業は、防災機能向上、安全で快適な歩行空間の確保や良好な都市景観の形成などを目的とするものです。

横浜国道事務所では、橋梁やトンネル、幅員の狭い歩道空間を除いた約180kmについて無電柱化を推進する計画です。

これまでに約130kmの電線共同溝等が整備されており、引き続き無電柱化を進めていきます。




### 共同溝

各種公益物件を効率的機能的に収容することで、道路の掘り返しを抑制し、円滑な道路交通の確保を図ることを目的とするものです。

横浜国道事務所では、管内50.3kmの維持管理を行っています。

■災害時の避難や救助活動の迅速・円滑化

電線・電柱は火災時の消防活動に支障がある上、災害時の電柱倒壊は、住民避難や救助活動に支障をきたす可能性があります。無電柱化は、迅速で円滑な消防活動、災害時の住民避難や救助活動にもつながります。

■安全で快適に過ごせる歩行空間の確保

電柱による歩道内の障害が少なくなることで、歩道スペースが広く確保でき、安心して歩行が出来るようになります。また、高齢者、車いすやベビーカーの方々にも安全な歩行空間を提供できます。

**令和５年度の事業**

主な事業箇所

◎ 国道246号
川崎市高津区　　梶が谷(2)電線共同溝

◎ 国道357号
横浜市金沢区　　福浦(2)電線共同溝

◎ 国道１号
中郡二宮町　　国府本郷(2)電線共同溝

ほか３５箇所

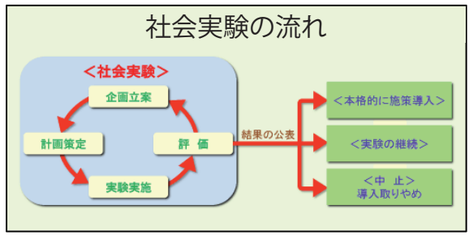
### コラム：道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）の実施
### ～　国内初！ＥＶ充電器の公道設置に関する実証実験　【横浜市】　～

**社会実験とは**

国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、関係行政機関、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする『現地実証実験（社会実験）』を、公募により平成１１年度から実施しています。

これまでは主に
- 歩行空間を拡大すること等により車優先の道路から歩行者や自転車優先の道路への再構築を図る実験
- オープンカフェ等の道路空間の多目的利用を図る実験
- パーク＆ライド等を用いた公共交通機関の利用促進を図る実験
- 路上や路外での荷捌き空間創出や駐車場への誘導により車両の駐車の効率化を図る実験
- 通り名位置番号方式による道案内を図る実験

などの取り組みを行ってきました。




**取組事例：　ＥＶ充電器の公道設置に関する実証実験**

横浜国道事務所管内では、横浜市において、全国で初めて公道上にＥＶ充電器を設置し、公道に充電器を設置する際の課題や有効性について検証する実証実験の支援を行いました。

利用回数は２００回／月を超え、利用者アンケートでは利用者の９割以上が支持する結果となりました。

実証期間 ： 令和３年６月８日（火）１７時～令和４年３月３１日（木）
（令和４年度は横浜市独自の実証実験として継続）
実証場所 ： 横浜市青葉区しらとり台６９付近
（神奈川県道１４０号川崎町田線沿い）
設置充電器 ： 急速充電器１基　（２台同時充電可能）

概要図（出典：横浜市ＨＰ）

充電状況（出典：横浜市ＨＰ）